

この町の“これから”を考える。

いちかわ

議会だより



「いっぱいしぼれるかな？」

甘地小学校 ひまわりの種 搾油体験



9月定例会

市川町イメージキャラクター
ひまりん

令和3年度決算	2
9月定例会 審査結果	8
主な条例制定・改正、補正予算	9
いちかわ委員会ニュース	12
いちかわのココが聞きたい!	16

“みんなで乗り越えようコロナ”

令和3年度 決算認定

総額

124億4,040万円

(令和3年度市川町一般会計および4特別会計並びに3事業会計、合わせて8会計)

決算特別委員会9月20日、21日、22日に開催し全員賛成で認定することに決定。

主な事業と事業費(普通会計)

コロナ対策(総額) 6億847万円

町内でお買い物推進事業

1億1,892万円

子育て世帯等臨時特別支援事業

(町単独事業分を含む)

1億4,715万円

住民税非課税世帯等臨時特別支援給付事業

1億140万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業

1億4,432万円

中小企業等応援事業

1,257万円

新生児臨時特別給付事業

400万円

低所得子育て世帯生活支援特別給付事業

835万円

学校保健特別対策事業

534万円

安心安全(防災・消防外)

交通安全施設工事業

643万円

防犯灯・防犯カメラ設置補助事業

187万円

防災気象情報提供事業

168万円

姫路市消防事務委託料

1億6,224万円

少子化・子育て支援

認定こども園運営事業

2億2,159万円

学童保育事業

2,075万円





澤区内



土木・農林

リフレッシュパーク市川運営事業

1、885万円

道路メンテナンス事業

1億4、571万円



教育

小中学校管理費および教育振興費

4億8、648万円

うち、施設整備事業

鶴居小学校トイレおよび
給排水設備等改修工事

1億2、780万円

統合にかかる中学校職員室等改修、
特別教室等空調設備設置および

鶴居方面通学バス停留場の整備

1億1、607万円



その他

コミュニティバス・買い物支援バス運行事業

1、379万円

中播北部・中播衛生施設事務組合負担金

3億512万円

ひょうご地域創生交付金事業

2、331万円

うち、駅施設等環境整備事業

165万円

うち、ゴルフ試打設備設置事業

1、047万円

うち、笠形山登山者用駐車場舗装事業

583万円

令和3年度一般会計歳入の決算

72億1,641万円

ふるさと応援寄附金

4億557万円

(4,797万円の増)

屋形区 ひまわり畑

審査方針

予算が議決した趣旨と目的に従って適切、且つ効率的に執行されたのか。
どのような行政効果が発揮されたのかを重点に審査を行った。

委員からの意見

一般会計

歳入

- ① 町税の徴収率は前年度に比べ、向上しているものの、依然として厳しい状況が続いている。コロナ禍における徴収猶予分の収納や徴収努力により向上しているが、引き続き徴収体制を充実、整備され、自主財源としての町税確保に向け取り組んでいただきたい。
- ② 不納欠損処理は、内容を十分に精査し、債権管理条例により適正に処理されたい。
- ③ ふるさと納税したい、応援したいと思う事業への活用を期待。引き続きPR、工夫をされ継続していけるよう力を注いでいただきたい。
- ④ 今後の財政計画に注視され、健全な財政運営に努められたい。

歳出

- ① システム改修・保守については、統一の基本システム、基本様式

となる運用を効率よく更新できるよう各課連携に努められたい。

- ② 新型コロナウイルス感染症の拡大防止にむけ、引き続きワクチン接種の速やかな対応を。早期発見のきっかけとなっているがん検診等について、少しでも多くの方に受診していただければよう啓発および工夫を。

- ③ リフレッシュパーク市川の運営は、株式会社夢屋が指定管理者の再契約となっている。積極的な営業、運営による経営努力を求める。

- ④ 歳出全般で、不用額については内容を精査し、補正予算による減額など、適正な予算措置を。

特別会計

学校給食



- ① 給食費の収入未済額が増えている。滞納整理について、保護者の理解をえて徴収努力された

- ② 給食費を1人月額300円軽減



減しているが、さらなる子育て支援事業の検討をされたい。

国民健康保険



- ① 保険税の徴収率は、昨年より向上しているが、徴収体制の充実により更なる努力を。
- ② 保健福祉センターと連携を密にし、コロナ禍における特定健診受診率の更なる向上へ努力を。

介護保険事業



- ① 保険料の徴収にあたり、滞納が増えないよう二層の努力を。
- ② 介護サービス給付費抑制のため、また、超高齢化に伴う認知症に対し、介護予防へ更に力が注がりたい。

後期高齢者医療



- ① 現年度分の徴収率が99.2%であり、引き続き徴収努力と滞納の解消を。

事業会計

下水道事業



- ① 下水道使用料、受益者分担金に未収金があり、回収に努力を。
- ② 公共下水道事業中部処理区において、つなぎ込み率の向上に努め、経営の安定化につながるよう要望。

水道事業



- ① 水道使用料の未収金回収に努力を。

- ② 用水供給事業の収益減を踏まえ、施設統合や経費の見直しをされ、安全な水道水の安定的な供給と健全経営に向け努力されたい。
- ③ 残る石綿セメント管の早期更新を計画的に。

土地開発事業



- ① 分譲地の早期完売に向けて、より一層の努力を。

決算特別委員会

【委員長】高橋 昭二
【委員】山本 芳樹

【副委員長】正木 幸重
【委員】内藤 亘

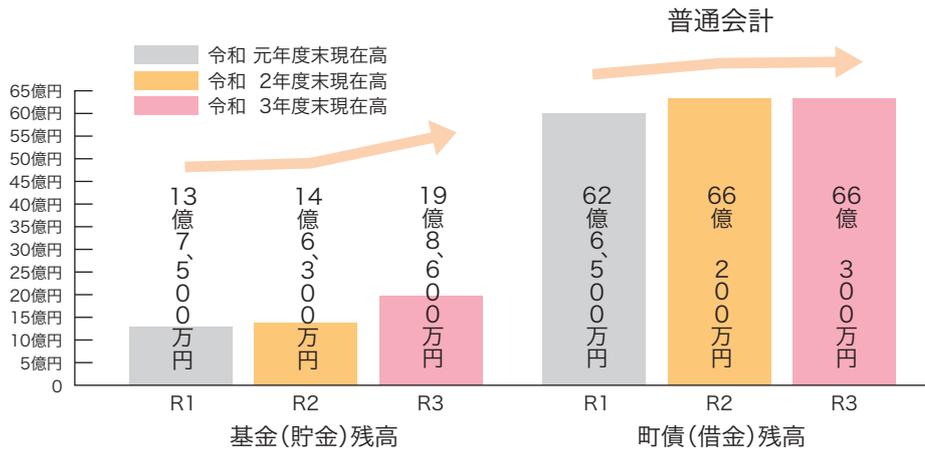
【委員】前川 好文
【委員】中尾 武





会計別の決算状況
(令和3年4月～令和4年3月)

各会計		収入済額	支出済額	
普通会計	一般会計	72億1,641万円	70億6,130万円	
	学校給食特別会計	1億3,994万円	1億3,957万円	
	計(会計間の繰入、繰出金を差引きしたもの)	72億5,683万円	71億 134万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	15億7,168万円	15億4,968万円	
	介護保険事業特別会計	14億2,207万円	13億4,327万円	
	後期高齢者医療特別会計	2億 726万円	2億 517万円	
事業会計	下水道事業会計	収益的収入及び支出	3億4,231万円	4億2,643万円
		資本的収入及び支出	9億2,709万円	9億3,605万円
	水道事業会計	収益的収入及び支出	3億9,870万円	3億6,794万円
		資本的収入及び支出	2億4,649万円	3億9,479万円
	土地開発事業会計	収益的収入及び支出	1,615万円	1,290万円
		資本的収入及び支出	0円	330万円



貯金と借金は？

用語(指標)の説明

○実質赤字比率
普通会計の※標準財政規模に対する赤字の割合。
○連結実質赤字比率
町全会計の※標準財政規模に対する赤字の割合。
○実質公債費比率
町の※標準財政規模に対する将来支払う負債の割合。
○将来負担比率
350%以上で早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。
※標準財政規模 補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。

1.健全化判断比率

指標	令和3年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率	8.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	79.9%	350.0%	

2.資金不足比率

公営企業	令和3年度決算	経営健全化基準
下水道事業会計	不足なし	20.0%
水道事業会計	不足なし	20.0%
土地開発事業会計	不足なし	20.0%

令和3年度決算の健全化判断比率と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

基準を下回り健全



町財政の健康診断



監査の眼



監査委員 前田 盛雄
本間 信夫

令和3年度決算を監査

令和3年度の決算審査を7月21日、22日、27日の3日間にかけて行った。各課、補助団体の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が、事務処理の能率性と組織運営の合理化の趣旨に沿ってなされているのか、行政事務の執行が計画通りに適切に行わ

れているのか、安全で安心して住めるまちづくりの推進、防災減災対策の取り組み、住民の福祉向上のため最少の経費で最大の効果を挙げるように実施されているかを主眼とした。

財政の健全化を表す健全化判断比率については、実質公債費比率8・9%（昨年8・9%）、将来負担比率については、79・9%（昨年93・1%）となっている。依然として地方債残高が多いことから、下水道事業等の既に計画している事業以外の投資を抑制し、町債の新規発行を極力抑え、財政状況の許す範囲内で繰上償還を実施することが必要である。

指摘する課題は次のとおりである。

【1】 自主財源の確保について、各種税、住宅資金等貸付金、水道料金の滞納金等の回収については、関係各課等の緊密な連携で強力に対処された。また、各種使用料、手数料、その他受益者負担金等を適正な算出方法で設定・徴収されたい。

【2】 厳しい財政状況ではあるが、住民福祉充実のため諸施策を工夫しながら積極的に進められたい。

【3】 財政援助団体の資格と補助額等の再審査を行い、町補

助金の支出にあたっては、その団体の活動状況・会計状況を常に把握されたい。

【4】 各種業務委託契約やリース契約の見直し、負担金・分担金の適正な支出をされたい。

【5】 課（室・局・所）長は、業務量に見合った職員配置及び健康保持のため、業務内容を十分に把握されたい。

以上の課題について十分検討され、業務執行を図られたい。



9月定例会 審査結果

賛否

議案名	内藤 亘	中岡 輝昭	山本 芳樹	重里 英昭	本間 信夫	堀田 佐市	中尾 武	中野 史子	正木 幸重	高橋 昭二	前川 好文	長尾 克洋	結果
3年度決算				●								—	賛成10人可決
●市川町下水道事業会計欠損金の処理及び決算認定について				●								—	賛成10人可決
●市川町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について				●								—	賛成10人可決
その他				●								—	賛成10人可決
●市川町過疎地域持続的発展計画の策定について				●								—	賛成10人可決
●市川町立瀬加小学校トイレ及び給排水設備等改修工事の変更契約の締結について				●							●	—	賛成9人可決

○印は賛成、●印は反対、「欠」は欠席、「退」は退室したことを示しています。
 ※議長は採決に加わらないため「—」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合は議長が決めます。(敬称略)

全員賛成

議案名	結果
条例	●市川町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について ●市川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
3年度決算	●市川町一般会計の決算認定について ●市川町学校給食特別会計の決算認定について ●市川町国民健康保険特別会計の決算認定について ●市川町介護保険事業特別会計の決算認定について ●市川町後期高齢者医療特別会計の決算認定について ●市川町土地開発事業会計剰余金の処分及び決算認定について
4年度予算	●市川町一般会計補正予算(第3号) ●市川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) ●市川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
その他	●市川町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(藤末康男) ●市川町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(庄坪貞明)

報告

その他	●令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
-----	------------------------------

※報告は質疑のみで、討論・採決は行いません。



次回 定例会の日程(予定)

町議会では、予算・条例をはじめ行政に対する一般質問など、住み良い市川町をめざして審議しています。この審議の様子を住民のみなさまに傍聴していただくための傍聴席を本会議では**13席**設けています。議会がどのように運営されているか、ぜひ傍聴にお越しください。お待ちしております。

日時	予定している主な内容
12月 6日(火)9:30から	議案の提案理由等の説明
12月13日(火)9:30から	一般質問
12月22日(木)9:30から	議案に対する質疑・討論・表決

条例制定・改正

市川町過疎地域
持続的発展計画の策定

令和4年4月1日から過疎地域
に追加指定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、令和2年国勢調査の結果を踏まえて、令和4年4月1日に追加公示され、当町が過疎地域に追加指定された。この特別措置法は、人口の著しい減少等に伴い、地域社会における活力が低下し、生産機能および生活環境の整備が他の地域に比較して低位にある地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講ずるとしており、持続的発展に関する施策を総合的かつ計画的に推進して過疎地域から脱却し、非過疎地域となることを目的とする過疎地域持続的発展計画を策定。

市川町過疎地域における
固定資産税の課税免除に
関する条例の制定

過疎地域産業の活性化を図る

市川町過疎地域持続的発展計画に記載された産業振興促進区域内において、振興すべき業種として定められた製造業等の用に供する設備の取得等をした者に係る固定資産税の課税を免除し、過疎地域の産業の活性化を図り、地域格差の是正に寄与するため制定。

市川町職員の育児休業等
に関する条例の一部を改正

育児休業取得回数制限の緩和等

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律および雇用保険法の一部を改正する法律が公布され、育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間拡大、非常勤職員の子の出生後8週

間以内の育児休業の取得要件の緩和、非常勤職員の1歳以降の育児休業取得の柔軟化に関わる部分に関する改正。



補正予算

一般会計

総額1億6、110万8千円の増

歳入

▼地方特例交付金

105万1千円の増

確定による個人住民税減収補てん特例交付金の増。

▼地方交付税

1億1、703万3千円の増

普通交付税の確定による増。

▼国庫支出金

6、642万9千円の増

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金等の増。

・事業採択に伴う小規模事業者支援推進事業費補助金の増。

・事業承認に伴う社会資本整備総合交付金の増。

・事業採択に伴う文化芸術振興費補助金の増。

▼県支出金

725万3千円の増

・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の増。

・事業承認に伴う針葉樹林・広葉樹林混交整備事業補助金の増。

▼繰入金

1億6、217万5千円の減

今回の補正に伴う減。

▼繰越金

1億2、003万7千円の増

前年度繰越金の増。

▼諸収入

2、218万円の増

- ・新型コロナウイルススワクチン住所地外接種費等の増。
- ・各種医療費助成事業補助金等の精算による増。

▼町債

1、070万円の減

- ・農林水産業債は、事業追加に伴う農地等保全管理事業債の増。
- ・土木債は、事業量増に伴う道路整備事業債の増。
- ・臨時財政対策債は決算見込みによる減。



歳出

▼総務費

1、043万円の増

- ・一般管理費および財産管理費は、電気料金高騰による光熱水費の増。
- ・財政調整基金費は、今回の補正に伴う増。
- ・賦課徴収費は、過誤納還付金の増。



▼民生費

778万8千円の増

- ・社会福祉総務費は、今回の補正に伴う介護保険事業特別会計繰出金の増。
- ・医療助成費は、前年度各種医療費助成事業補助金等の精算による返納金の増。
- ・保健福祉センター管理費は、電気料金高騰による光熱水費の増。
- ・認定こども園費は、電気料金

▼衛生費

5、158万6千円の増

- ・高騰による光熱水費等の増。
- ・児童措置費は、前年度施設等利用交付金等の精算による返納金の増。
- ・保健衛生総務費は、新型コロナウイルススワクチンの追加接種に伴う報酬、職員手当等の増。
- ・予防費は、新型コロナウイルスワクチンの追加接種にかかる需用費、役務費、各種委託料およびワクチン接種会場医療従事者派遣事業支援金の増。
- ・母子衛生費は、前年度子ども子育て支援交付金等の精算による返納金の増。



▼農林水産業費

4、015万5千円の増

- ・地域振興事業建設費は、特

▼土木費

3、950万円の増

- ・道路維持費は、交通安全施設工事費および道路修繕工



- ・定外ため池の廃止等にかかる調査設計委託料の増。
- ・林業振興費は、針葉樹林・広葉樹林混交整備事業補助金等の増。

補正予算

事費の増。
 ・道路改良費は、事業量の増等に伴う測量設計委託料および道路工事費の増。



▼教育費

1、164万9千円の増

・学校管理費は、電気料金高騰による光熱水費の増。
 ・学童保育事業費は、前年度子ども・子育て支援交付金の精算による返納金の増。
 ・社会教育費の文化センター運営費は、自主事業の追加に伴う委託料等の増。

▼債務負担行為

・市川中学校の改修工事を円滑に推進するため、設計監理業務を令和7年度まで委

託するもので、限度額は2、700万円。



市川中学校

国民健康保険特別会計

前年度繰越金の増額

1、472万5千円の増

歳入

▼国民健康保険税

決算見込みによる727万6千円の減。

▼繰越金

前年度繰越金2、200万円1千円の増。

歳出

▼国民健康保険事業費納付金

一般被保険者分は繰越金の補正に伴う財源内訳の変更および退職被保険者分等は決算見込みによる2万7千円の増。

▼財政調整基金

今回の補正による554万9千円の増。

▼諸支出金

前年度普通交付金等の精算による914万9千円の増。

介護保険事業特別会計

前年度繰越金の増額

7、372万2千円の増

歳入

▼繰入金

今回の補正に伴う231万4千円の減。

▼繰越金

前年度繰越金7、603万6千円の増。

歳出

▼総務費

システム改修に伴う委託料9万円の増。

▼基金積立金

今回の補正に伴う介護給付費準備基金積立金3、520万9千円の増。

▼諸支出金

前年度介護給付費負担金等の精算による3、842万3千円の増。



上瀬加区 ひまわり畑



下水道南部処理区 着手近づく

民生教育常任委員会 開催日 8月17日、9月16日



東川辺区 南部浄化センター

特定環境保全公共下水道事業南部処理区(西川辺、東川辺の区域の一部)において、着手の運びとなった。処理場については、旧農業集落排水処理施設東川辺処理場を公共下水道南部浄化センターとして、令和3年4月より供用を開始しており、令和5年度に処理場の増設工事に着手し、令和7年度完成を目指している。面整備工事(下水道管路等の布設・公共ますの設置)は令和5年度より処理場に近い下流側から順次施工予定で、令和10年度完了予定で進んでいる。

このたび、南部処理区域にお住いの皆様に南部処理区事業計画が送付され、4工区に分けて工事を施工する予定、公共汚水ます設置

公共汚水ます設置申請書提出へ

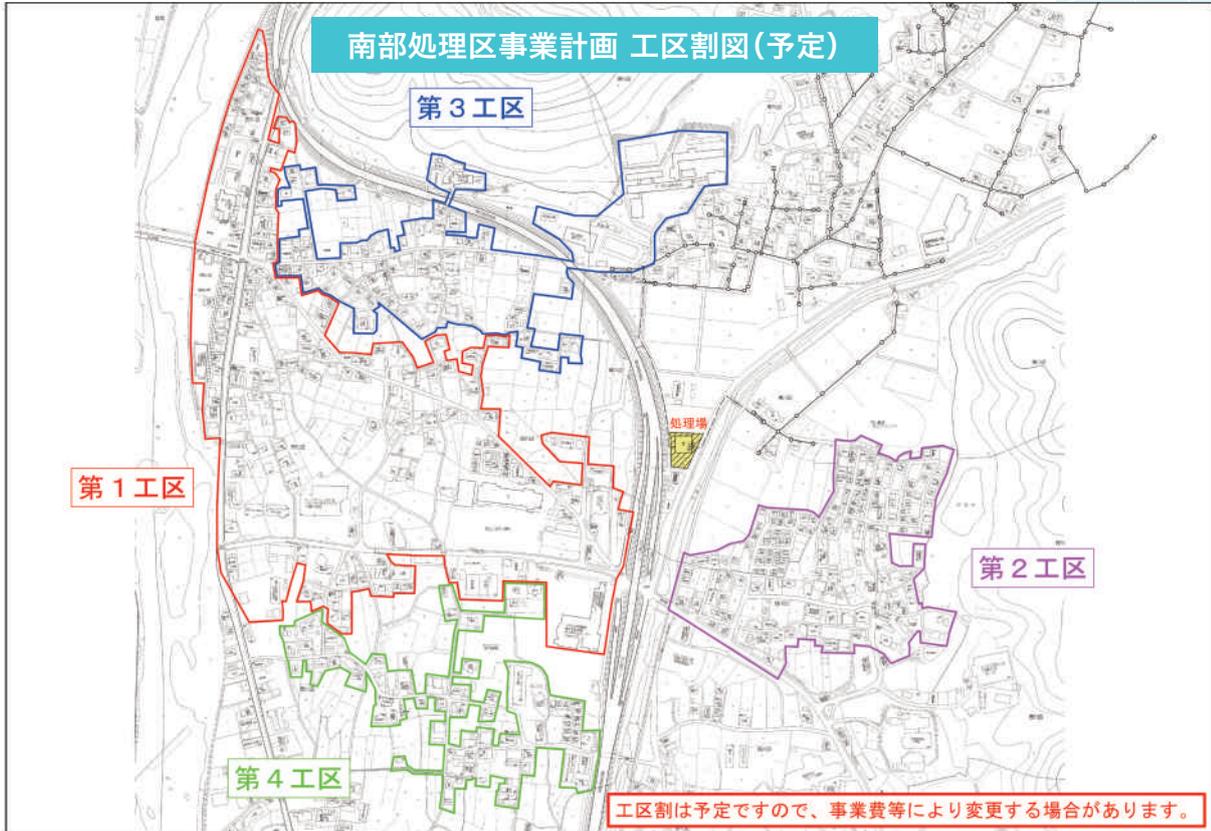
申請書の提出が必要であること、受益者分担金の納入等が示された。

委員会として、コロナ禍ではあるが、関係区長とよく相談し、丁寧な説明を要望した。



増設工事予定地





南部処理区事業計画表 (R4~R10)

南部処理区	地区名	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	備考
1工区	西川辺 東川辺	測量設計	管路工事			舗装工事	舗装工事		
2工区	西川辺 東川辺 新町 東川辺		測量設計	管路工事		舗装工事	舗装工事		
3工区	西川辺 東川辺			測量設計	管路工事		舗装工事	舗装工事	
4工区	西川辺			測量設計	管路工事		舗装工事	舗装工事	
処理場	東川辺	測量設計							
			増設工事						
備考		1工区申請	2工区申請	3・4工区申請	年度末 処理場稼働 (供用開始)	1・2工区 公共ます 繋ぎ込み開始	3・4工区 公共ます 繋ぎ込み開始	事業完了年度	

※施工時期は、国庫補助金等要望額に対する国の内示額により、遅れることがありますのでご理解をお願いします。
また、工区割については計画ですので、予算等により1工区・3工区・4工区における隣接箇所等について、施工時期が前後する場合がありますのでご理解をお願いします。



市川町全域過疎地域に指定

総務建設常任委員会 開催日 8月18日、9月15日



発展計画書の作成報告

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和3年4月1日に施行され、本年4月に人口要件・財政力要件により、市川町全域が新たな過疎地域として追加指定されたとの報告を受けた。

【報告内容】

《市川町における過疎の状況》

昭和30年に4か村が合併し、現在の市川町が誕生した当時の人口は、15,751人だったが、その後減少が続き、昭和45年には14,686人となった。昭和50年以降は、日本の経済成長や播但連絡道路の開通などに合わせて昭和60年には15,000人を超えた。しかし昭和60年以降は、少子高齢化の進行もあり、自然動態、社会動態ともマイナス傾向が続き、平成27年の国勢調査では12,300人となった。

市川町では、平成27年度に「市川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地域産業の振興と仕事の創出、子育て環境の支援施策の強化を図るなど、人口減少の抑制を図っているが、令和2年の国勢調査における人口は11,231人となった。

特別措置法が施行され指定された地域については、過疎から脱却するための総合的かつ計画的な対策を実施することとしており、「市川町過疎地域持続的発展計画」を作成し、9月議会定例会にて承認を求める議案が提出された。

計画には、過疎地域の持続的発展のために移住・定住の促進のほか、令和7年度までに予定している事業が示されている。

この計画書に基づいて事業を実施した場合、国から様々な優遇措置を受けることができる。





甘地駅前公衆トイレ整備に着手



JR甘地駅

整備内容を報告

鶴居駅前トイレ整備工事に引き続き甘地駅前
に県の交付金を活用し、11月から公衆トイレの整
備工事に着手するとの報告を受けた。

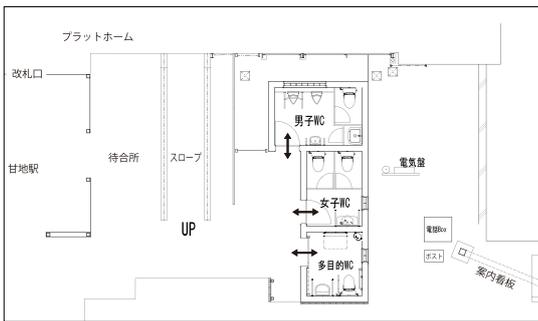
【報告内容】

これまででは男女共用の汲み取り式トイレだった
が、このたび男性用・女性用・多目的用の3室に分
離した水洗トイレとなり、衛生的で安心して利用
することができる。

来年3月末に完成する予定で、公共下水道との
接続が完了次第、運用開始となる。



完成予想図



委員会の傍聴、 できます!!

毎月の委員会も傍聴していただくことが可能です。開催日は議会ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。ご不明な場合は議会事務局にお問合せください。なお、委員会傍聴は議場の傍聴とは違い、事前に電話連絡が必要となります。開催日3日前までに議会事務局(26-1010)まで傍聴希望の連絡をお願いいたします。議場とはまた違った様子をご覧ください。お待ちしております。

委員会名	日時	会場	内容
総務建設常任委員会	12月15日(木)9:30から	役場4階 会議室	付託審査・所管事務調査
民生教育常任委員会	12月16日(金)9:30から		



いちかわの「ココ」が聞きたい!



※登壇順(質問順)			質問者氏名
山本 芳樹	中岡 輝昭	前川 好文	
P19	P18	P17	掲載ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく6事業の進捗状況 ● 文化センター運営に関する歳入・歳出予算詳細 ● 認定こども園の通園バスの管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校3年生までの通院費無償化の拡充 ● 男性トイレにサニタリーボックス設置 ● 特定外ため池の廃止等に係る調査設計委託料 ● 給食費のきょうだい割引の導入 ● 出生数と合計特殊出生率 ● 生活者目線の物価高騰対策 ● 教員不足による本町の現状 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健福祉センター駐車場 ● 中播消防署の建替え計画 ● 文化センターのホール自主事業計画 	質問事項

マークのテーマを掲載。全文およびその他のテーマは議事録をご覧ください。(12月6日以降)(いちかわ図書館もしくは市川町ホームページ掲載)

募集

議会を傍聴してみませんか?

市川町ホームページにて録画映像配信中



一般質問は議員の日常活動(調査・研究等)、住民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長に方針を問うものです。市川町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。本紙では質問と答弁が要約してありますが、ぜひ一度、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



市川町議会
会議録はコチラ



保健福祉センター駐車場の拡張計画は

▶副町長——現時点では拡張する計画はない



前川好文

問

保健福祉センター駐車場が大変狭く感じる。拡張計画の有無についてお尋ねする。

答

副町長

駐車スペースは非常に狭く、空きスペースの確保に努めている。現時点では非常に優先度の高い事業がたくさんあり、今のところ拡張計画はない。今後、検討していく。

【要望】

保健福祉センターと社会福祉協議会が一つの建物の中にある。



保健福祉センター駐車場

り、災害等があった場合には、必ず社会福祉協議会が行政と一緒に手を繋いで、一番メインで活動しないといけない。できるだけ早期に駐車場を拡張しなければ、災害はいつ起こるかかわからない。早急に拡張するよう要望する。

新消防署の位置の検討状況は

▶町長——市川町へという要望は行っていく

問

新消防署の位置の検討状況についてお尋ねする。

答

副町長

市川町としては、以前から候補を上げている場所です。北部出張所を検討いただきという要望を再度行っている。

問

もう少し慎重に考えて、町長、副町長二人が力を入れてこの話はするべきではないか。もう完全に決まっているなら決まっているとはつきり言うてほしい。福崎町の押しが強く、それに負けているのではないか。水面下で動いて、いよいよ言わなければならぬ時に、どう答弁して逃げようか考えている。そうとは思えない。

答

町長

最終的に広域ということ考えざるを得ない。力不足と指摘

されれば、それは甘んじて受けなければならぬかも知れない。ただ、要望の出ている何としても市川町に今あるものは市川町に置いてほしいという話は当然していきたい。

【要望】

福崎町に本署を絶対に置かなければならないなら、町民の命を考えてもう一所増やして神河町、福崎町、市川町に一つずつ置くようにしてほしい。とにかく市川町に本署であろうが出張所であろうが、必ず置くだという前向きな考え方で活動してもらいたい。そうでなければ、町民の安全・安心が守れない。

このページの
一般質問の
動画はこちらから
視聴できます



高校3年生まで医療費無償化を

課長——来年度から実施



中岡輝昭

問

私たち公明党は重点政策の中に、「高校3年生まで無償化を目指し、子どもの医療費助成を拡充」を掲げている。現在、本町では、高校生に対しては入院無料となっている。県内の複数の自治体でも本年度より高校3年生までの無償化の拡充が行われている。ぜひとも早急に高校3年生まで通院も含めた医療費無償化の実施を。

答

健康福祉課長

高校生等に係る医療費助成は1年限りの限定的な措置ではない。

く、継続して実施する必要があることから、恒常的な財源確保

が必要だが、子どもの健全な育成と子育て世帯の経済的負担軽減のため、実施に向け進める。

問

いつから実施する考えか。

答

健康福祉課長

実施については、令和5年度を予定。開始時期は7月の予定。

問

中学3年生が高校生になって引き続き助成が受けられるよう、3か月のプランクを無くす意味から来年4月からの実施を強く求めたい。

答

町長

3か月については償還払いの方法が考えられないか担当課と協議し、実施できたらと思っています。

男性トイレの個室にも

サニタリーボックスを

課長——順次対応する

問

加齢や前立腺がん、膀胱がんの手術後、頻尿や尿漏れの症状が起きやすく、尿漏れパッドを着用することが多い。しかし、公共施設などの男性トイレの個室にはサニタリーボックスの設置が進んでおらず、パッドを捨てる場所がないため、外出先から自宅までビニール袋などに入れて持ち帰らざるを得ない方がおられる。まず役場などの公共施設から、男性トイレの個室にも少し大きめで蓋つきのしっかりとしたサニタリーボックスの設置をお願いしたい。

答

総務課長

病気等の影響が必要となった男性が外出先でパッドなどの処分に困り、家に持ち帰る

という事例に対応する必要があると考える。多様性にも対応すべく、役場庁舎をはじめ、設置の必要性のある男性用トイレについて、順次対応する。



設置されたサニタリーボックス

このページの
一般質問の
動画はこちらから
視聴できます



重点施策6事業の進捗状況は

副町長 — 計画をしている事業は年度内完了に向けて取り組む



山本 芳樹

問 重点施策6事業の進捗状況は。

答 総務課長

安全安心事業のうち無線LAN事業は後期に行う。他は計画通り進めている。

答 企画政策課長

新型コロナウイルス感染症対策事業ではコミュニティバス・買物バスの運賃無償化。地方創生関連事業では甘地駅前公衆トイレ整備の入札を10月に行う。

答 住民環境課長

新型コロナウイルス感染症対策事業としてマイナンバー取得者に地域商品券を配布。新生児に新生児臨時特別給付金を給付。

答 健康福祉課長

新型コロナウイルス感染症対策事業の大学生等応援給付金、住民税非課税世帯特別給付金、低所得子育て世帯生活支援特別給付金の3事業を実施。防災と福祉の連携促進事業は避難行動要支援者に同意書を発送。

答 保健福祉センター所長

地方創生関連の子育て支援事業は計画通り進捗。家族手帳は来年1月発行予定。新型コロナ

ウイルスワクチン接種事業は5回目接種に向けて準備を進めている。

答 地域振興課長

地方創生関連の移动式情報発信拠点整備の進捗は今年度末までに車両が完成する。

答 こども教育課長

地方創生関連事業の子育て支援施設の利用促進は計画通り進めている。小中学校の改修は進捗中で完了には複数年要する。

答 生涯学習課長

重点施策の進捗はいちかわ大好き子育て事業は実施。伝統文化継承助成事業は9月末が締め切り。文化センターの設備等の改修は年度末完成を目指している。

答 建設課長

防災・減災で地域の安全安心対策事業、社会基盤インフラ等

の老朽化対策事業の計画、ため池改修事業は実施中。道路改良工事・橋梁補修工事は稲刈り終了後に着手。

答 副町長

計画している事業については、予定通り進んでいる部分、やや遅れ気味の部分があるが、年度内完了に向けて取り組んでいきたい。

問 防災用無線LANのWiFi整備は災害関連で実施とされているが台風等の時期までに着工できなかったのか。

答 総務課長

緊急防災・減災事業債が活用できるよう仕様を取りまとめ早めに整備を行う。

このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



ご応募
お待ちしております

表紙『いちかわ』の 文字募集



市川町在住の小学1年生から6年生のみなさん、議会広報紙の『いちかわ』の文字を書いてみませんか。楷書・横書で『いちかわ』とひらがなで書いていただき議会事務局に持参ください。その際、顔写真のデータ(裏面の紹介欄に使用)、小学校名、学年も添えて提出願います。掲載は、一番に応募いただいた方を表紙に採用させていただきます。

募集期間

11月1日から12月28日

私が書きました



甘地小学校
5年生

丸山 玲愛^{れいあ}さん

ご応募
お待ちしております

短歌・俳句 募集



次号(2月1日発行予定)の裏面に作品・氏名を掲載させていただきます。掲載は、1人一作とさせていただきます。

お題自由

あなたの想いを
ご投稿ください

募集期間

11月1日から12月28日

アイアンのわが町照らす冬の月

戸部 脩

記憶から遠のくことを幸せと
思う日のあり 四つ葉のクローバー

藤澤 雅代

今月の『短歌・俳句』



編集後記

暑い夏も終わり、秋本番の季節がやってきました。

この度の9月議会は、令和3年度市川町一般会計及び4特別会計並びに3事業会計、合わせて8会計で総額124億4,040万円を決算認定することに決定しました。

さて、市川町は、議会の決算認定が終わり、続い

て町民の皆様の生活にかかわりの大きい令和5年度の予算編成に入っていく時期になっています。

今後も議会の情報を「いちかわ議会だより」として皆様にお伝えしてまいりますので、是非ご愛読ください。

編集委員 / 正木 幸重